

# 3 平成28年度予算の主な事業

## 1 ものづくり、環境など本市の強みを活かした「しごと」を創出

「高齢者の活躍や介護サービスの充実による人口減少・高齢化社会への対応」をテーマとして、本市が「国家戦略特区」に指定されました。この機会を最大限に活用し、「北九州市新成長戦略」を推進することで、ものづくり、環境など本市の強みを活かした新たな雇用創出を図ります。

また、市民生活に身近な公共事業や消費喚起対策を実施することで、地域経済の活性化につなげていきます。

### (1) 新成長戦略の推進

#### 1 国家戦略特区推進関連予算 …… 6,600万円

国家戦略特区の指定を受けて、セミナーの開催やPR、関係機関との協議などのほか、介護ロボットの介護現場への導入に向けた取組みの推進や、シニア・ハローワークを活用した高齢者等の雇用の促進など、国家戦略特区の推進を図ります。



#### 2 北九州空港将来ビジョン推進強化関連予算 …… 6億1,500万円

福岡空港の「混雑空港指定化」等を踏まえ、平成28年度から30年度の3カ年度をビジョン推進強化期間と位置付け、福岡県とのより緊密な連携のもと、関連事業を集中的に実施します。



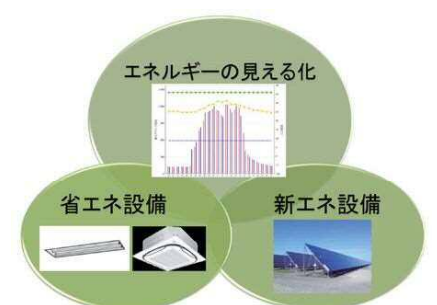
#### 3 次世代資源・エネルギーシステム創生事業 …… 4,000万円

エネルギー関連産業の支援・振興や、低炭素・安価で安定したエネルギー供給のためのエネルギーマネジメント実用化の調査・検討・仕組みづくりを行うとともに、国内外への発信・展開を実施します。



#### 4 次世代エネルギー設備導入促進事業 …… 1億2,000万円

消費エネルギーの見える化に取り組み、かつ省エネ設備や新エネ設備を設置する市内の中小企業等に対し、費用の一部を補助します。



## ⑤ 本社機能等移転・拡充支援事業…………… 3億円

首都圏等からの本社機能などの移転や、市内企業の拡充・拠点集約を促進するため、企業立地促進補助金に新たなインセンティブを創設します。さらに、地域再生計画に基づく本社機能などの移転・拡充には、上記の補助金に加えて、固定資産税の減税により手厚い支援を実施します。



## (2) 地域経済活性化の推進

### ① 折尾地区総合整備事業…………… 90億200万円

平成28年度の鹿児島本線の仮線切替に向けて、鉄道高架工事に加えてホーム、軌道や電気などの整備を実施します。筑豊本線の鉄道高架工事、駅周辺の用地買収や堀川町地区の宅地整備工事などを引き続き実施し、また、東側地区の家屋移転補償に着手します。



## 2 女性・若者の定着やアクティブシニアの移住など、新しい「ひと」の流れをつくる

「本市に、新しい人の流れをつくり、活気あふれるまちにしていくため、北九州市版CCRC等による移住・定住の促進、若者の地元就職促進、女性の活躍推進などの取組みを積極的に推進します。また、文化芸術・スポーツ・観光等の面で地域資源を活かした取組み等を更に推進し、にぎわいの創出につなげていきます。

## (1) 本市への移住・定住促進に向けた取組みを推進

### ① シティプロモーション首都圏本部移転事業…………… 4,100万円

首都圏におけるU・Iターン推進や企業誘致等の機能強化を図るとともに、専門相談員による「移住・就職相談窓口」を設置するなど、本市への移住・定住促進に向けた取組みを推進するため、首都圏本部（東京事務所）を交通利便性の高い東京交通会館ビル（JR有楽町駅前）に移転します。



東京交通会館ビル 外観イメージ

## (2) 文化芸術・スポーツ・観光等によるにぎわいづくりを推進

### ① 文学の街・北九州発信関連予算…………… 4,100万円

小倉都心部で、文学の街・北九州発信事業の拠点の整備、文学館での記念事業など本市ゆかりの文学者・作家を広く全国にPRし、「文学の街・北九州」を発信します。



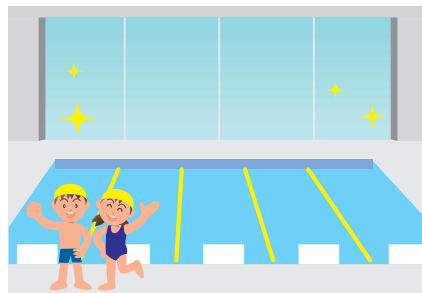
## ② スタジアム整備事業 ……100億9,600万円

都心部に人が集い、にぎわいあふれる北九州市の創出を目指し、市民に夢と感動を提供できるスタジアムを整備します。



## ③ 桃園市民プール(室内)整備事業 ……………3,400万円

老朽化が著しい市内唯一の公認50m室内プールである桃園市民プールについて、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会のキャンプ地誘致に向けて、建替えの基本設計等に着手します。



## ④ 小倉城周辺整備関連予算 ……1億1,600万円

小倉城周辺の歴史的・文化的なイメージを生かし、利便性や魅力向上のため、園路や広場の整備、桜の植替えなどを行い、集客力や回遊性のある名所とします。

また、勝山公園等で「指定管理者制度」などによる民間活力の導入を進めます。



# 3 安心して子どもを生き育てることができる「まち」の実現

待機児童対策の推進等を図るとともに、乳幼児等医療費支給制度の拡充、子どもの貧困対策など、子育て環境のさらなる充実に取り組みます。また、学校、家庭、地域それぞれがもつ教育力を発揮し、連携して子どもの教育を着実に推進します。

## (1) 子育て環境の更なる充実

### ① 乳幼児等医療費支給事業 ……………28億1,800万円

子育てに関する経済的負担を軽減するため平成28年10月から、現在「小学校就学前まで」となっている通院医療費の助成対象を「小学校6年生まで」に拡充します。





## ② 子ども一人ひとりに寄り添った支援

..... 800万円

不登校やひきこもり等困難を抱える中学生や保護者を対象に、訪問活動等を通じて一人ひとりに寄り添った伴走型支援などをモデル的に実施します。また、ひとり親家庭等の子どもに対し、親が帰宅するまでの間、学習支援や食事の提供などを行う居場所づくり（「子ども食堂」）を推進します。



## ③ 私立幼稚園特別支援教育助成事業

..... 1,500万円

幼児期における特別支援教育の充実を図るため、私立幼稚園において特別な教育的支援を必要とする園児の受け入れを促進できるよう支援します。



## (2) 教育環境の更なる充実

### ① 学力向上に向けた取組み関連予算

..... 10億7,400万円

放課後などを活用して学習機会を提供する「子どもひまわり学習塾」の対象校を拡充するとともに、学力向上に向けた取組みを総合的に行う学校に学力向上推進教員を配置する等の支援を行う授業力向上ステップアップ事業を実施します。また、ICT（情報通信技術）の活用・英語教育の分野でリーディングスクールを指定して、先導的・先進的な指導方法の開発・実践を行うほか、少人数指導等を行う市費講師を拡充するなど、学力向上に向けたさらなる取組みの充実を図ります。



### ② 子どもの読書活動推進関連予算

..... 3億3,200万円

中学校区と特別支援学校に学校図書館職員を拡充して配置し学校における読書活動を推進するとともに、「北九州市子ども読書会議」、「子ども司書養成講座」の開催、「子ども図書館」の整備などに取り組みます。



### ③ 小中学校等空調設備整備事業

..... 26億6,800万円

良好な学習環境を確保するため、小中学校等の普通教室にエアコンを整備します（平成28年度は小学校41校と中学校51校の普通教室に整備）。



## 4 健康で生き生きと安心して暮らせる「まち」の実現

健康で長寿の社会づくりを進めていくため、地域包括ケアシステムの構築など、地域の実情やニーズに応じたきめ細かな高齢者政策に取り組みます。また、市民の防犯意識の高揚、犯罪を防止する環境整備等、防犯対策を進めるとともに、浸水対策などの防災対策を推進します。

### (1) 健康で長寿の社会づくりの推進など福祉・医療の充実

#### ① 地域包括ケアの推進 …………… 8億6,800万円

医療や介護が必要になっても、住み慣れた地域で継続して生活できる「地域包括ケアシステム」の構築を目指し、「医療」「介護」の在宅支援に向けた方向付けや、「介護予防」「住まい」「生活支援」の地域資源が創出されるような環境づくりを推進します。



#### ② 障害者差別解消法推進事業 …… 2,000万円

平成28年4月の障害者差別解消法の施行に伴い、障害を理由とした差別の解消を推進するための、相談・紛争防止等に係る体制整備、障害者差別解消支援地域協議会の設置、普及・啓発活動、コミュニケーション支援を強化します。



### (2) 安全・安心を実感できるまちづくりの推進

#### ① 世界記録への挑戦事業

(1万人の防犯パトロール大作戦) …………… 1,700万円

「1万人の防犯パトロール大作戦」をさらに市内外へアピールするため世界記録に挑戦し、参加者の拡大や安全・安心な都市イメージの向上を図ります。



#### ② 地域とつくる「ごみステーション」事業

…………… 2,000万円

北九州市環境審議会の答申（「ごみステーションのあり方」）に基づき、地域のごみステーション管理に対する支援の拡充、事業所に対する指導等により、環境未来都市にふさわしいごみステーションづくりを推進します。

